

函館市役所労働組合連合会との交渉の概要

- 交渉日時 平成23年11月17日（木）18:00～21:35
- 交渉場所 市役所8階第1会議室
- 出席者 当局側 中林副市長，企業局長，他 計約20名
組合側 長谷川中央執行委員長，他 計9名

交渉項目	人事・給与制度の見直しについて（第4回目）
交渉要旨	<p>中林副市長および総務部長からこれまでの考え方を改めて説明</p> <p>（組合） これまでの交渉の経過を認識したうえでの回答には感じられない。決してよい財政状況ではないことは認識しているが，悪化した原因など，その状況の見方については乖離している。検討結果が何も変わらないということであれば，交渉にもならない。</p> <p>（当局） 財政状況においては，指標上では極端に悪いわけではないという見方もあるかもしれない。財政見直しにおける財源不足額としての50億円は大きい数字であり，できる限り早く解消しなければならないと考えている。市長は将来に赤字穴埋めのための借金を残したくないということとで，退職手当債を活用しないという考えである。財源不足に対しては，人件費だけでなく，施策の見直しも行っていくこととしている。</p> <p>（組合） 財政が苦しいという状況でありながら，新たな施策を行ったり，予算規模が増えているなど見直しの姿勢というものが見えないが，どう考えるか。</p> <p>（当局） 財源が不足している状態であっても，市としてやらなければならないものもある。内部努力も行っている，例えば，毎年予算の10%を保留額としているが，今年は年度途中でさらに10%上乗せしている。これは異例の取り扱いである。また，来年度の予算編成にあたっては，経常経費については，前年度比30%減での要求としているところである。</p>

(組合)

そういった努力は理解するが、保留額の上乗せや現時点での決算見込みと決算額との差額は例年どれくらいあるのか。

(当局)

保留額は最大3億円程度、差額は例年3～4億円程度である。

(組合)

そうなれば、今年度の財政見通しの目標額等にある事務事業の見直し分としての8億円から差引くと、必要な見直し額は2億円となり、退職手当債の発行額を10億円から12億円とすると、収支が合うのではないか。

(当局)

退職手当債の発行は、将来に負担を残すことになるので、これ以上行わない考えである。

(組合)

これまでも、退職手当債を発行することで財源不足に対応してきたのではないか。事務事業の見直しが進まない中で、急にそのやり方を変えるのか。そうなれば、給与カットありきの財政見通しにしか見えない。そうした状況で財政状況を理解してほしいといわれても、分かりましたとはいえない。

(当局)

赤字穴埋めのための退職手当債を活用しないことを公約とした市長が市民に選ばれたからである。

(組合)

厳しい財政状況の中、昨年度予算から9月補正後までで4.2%も予算が増えているのではないか。

(当局)

予算規模の伸びについては、一般財源がそのまま増えているわけではない。特に影響があったのは、子ども手当の満額支給によるものであり、道内他都市も同様に伸びている状況にある。

	<p>(組合)</p> <p>これまでの財源不足への対応として退職手当債を借りてきており、今年度の当初予算の編成においても財源不足が見込まれているから、退職手当債が計上されていたのではないか。その中で交付税が減ったにも関わらず、事務事業の見直しをせずに、退職手当債を借りないということは、逆に財源不足を大きくしていることになるのではないか。このようななかで不足分を職員に求めることになるのか。</p> <p>(当局)</p> <p>市民サービスを低下させることはなかなか難しい。10年間で1,000人の職員数削減を行ってきたが、財源不足額の大幅解消とまでは至らなかった。また、事務事業の見直しも進めてはきたが、十分ではなかった部分があったことは否めない。現在、事業仕分けも実施しており、その結果を踏まえ見直しを進め、可能なものは来年度の予算に反映していく。今後は、使用料や手数料の見直しも必要になるのではないかと考えており、そうなれば、市民にも一定の負担を求めることになる。</p> <p>(組合)</p> <p>現在の財政論議では、朝までやっても平行線になる。本日が回答期限ということであったが、このような状況では、何も回答することはできない。提案内容の12月1日の施行についてはどのように考えるのか。提案内容についても変えられないものなのか。</p> <p>(当局)</p> <p>提案については、基本的には合意を前提としており、今後交渉を続けるなかで、1月1日の施行に向け組合の理解をお願いしたい。合意のためにも、労使双方が共通認識に立つことが重要であり、財政状況については、改めて詳しい説明をさせていただきたい。提案内容についても、交渉のなかで、皆さんの意見も聞きながら、総合的に判断していきたいと考えている。</p>
交渉結果	(交渉継続)
備考	